

秋篠宮皇嗣同妃 両殿下をお迎えして

秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席のもと開催された総合開会式では、殿下から「日頃の練習成果を存分に発揮し、競技に臨まれることを期待しております」と激励のお言葉をいただきました。また、両殿下はバスケットボールやフェンシングの試合を観戦され、健闘する選手たちに温かい拍手を送られました。



総合開会式でお言葉を述べられる殿下
(7月27日 鹿児島アリーナ)



フェンシングの熱戦を観戦される両殿下
(7月29日 牧園アリーナ)



開会式前日、高校生と交流される両殿下
(7月26日 城山ホテル鹿児島)



大迫力の和太鼓パフォーマンス



鹿児島の伝統的工芸品「薩摩切子」を美しいダンスで表現



公開演技を披露した高校生全員でフィナーレ



7月27日 総合開会式の本県選手団入場の様子(鹿児島アリーナ/鹿児島市)



三反園知事も令和初の今大会に参加する選手たちを歓迎

本県選手による堂々とした宣誓

公開演技は
鹿児島高校2年演劇部の
穂園美波さん(左)と牟田万海さん(右)による
鹿児島の方言たっぷりの
演劇で進行され、大会は大いに
盛り上がりました。



7月27日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席のもと、鹿児島市の鹿児島アリーナで総合開会式が開催されました。
式には47都道府県の選手や関係者など約4300人が参加。選手を代表して、バスケットボールに出場する川内高校の川畑颯太郎主将と、れいめい高校の徳田梨愛主将が、「一人でも多くの方に元気と笑顔を届けることができるよう、最後まで全力で競技します」と堂々と宣誓しました。
また、式に続き、本県の高校生506名が躍動感あふれる公開演技を披露。大島紬や薩摩切子を表現した創作ダンスのほか、奄美で歌い継がれてきた島唄など、鹿児島ならではのパフォーマンスで選手団を歓迎しました。

華やかに開催された総合開会式

特集

ひと夏の熱き青春の輝き

令和初のインターハイ!

感動は無限大 南部九州総体 2019

7月24日から8月20日にかけて、高校生スポーツ最大の祭典「全国高等学校総合体育大会」(インターハイ)が鹿児島県を中心とした南部九州4県と和歌山県で開催され、本県では総合開会式のほか、体操(体操競技・新体操)・卓球・柔道・フェンシング・バスケットボール・カヌーの6競技7種目が実施されました。

本県選手団は、ボクシング男子ピン級、水球、陸上女子1500メートル、カヌー女子カナディアンシングルで優勝を果たすなど前回大会から大いに躍進。また、選手以外の高校生たちも大会を企画・運営面から全力でサポートし、今大会を成功へと導きました。

今回は、この夏各地で大きな感動の渦を巻き起こした高校生たちの素晴らしい活躍をご紹介します。



4人の選手が3位入賞するなど好成績が相次ぎ、7年ぶりに県勢が表彰台に上がった。
※写真は榎田選手(鹿児島情報高校)



柔道(鹿児島アリーナ/鹿児島市)

県勢が躍進して3人の選手が3位入賞を果たし、迫力ある戦いで会場を盛り上げた。
※写真は中馬選手(国分中央高校)



体操(鹿児島アリーナ/鹿児島市)

男子ゆかでは井上選手(出水商業高校)が力強くしなやかな演技で3位入賞した。

鹿児島の選手たちの活躍



各都道府県の厳しい予選を突破して勝ち上がってきた選手たちが、各地で日本一を懸けた熱い戦いを繰り広げました。

これまで仲間と積み重ねてきた努力の成果を発揮しようと全力でプレーするその姿は、会場を訪れた多くの人に感動を与えました。



フェンシング(牧園アリーナ/霧島市)

女子個人サーブルで準優勝した尾崎選手(鹿児島南高校)。鮮やかな剣さばきで観客をひきつけた。



新体操(鹿児島アリーナ/鹿児島市)

息びつりの華麗な演技で女子団体2位となった鹿児島純心女子高校。

圧巻のラストパートで初優勝に輝く

女子1500m決勝は、スタート直後からシンシア選手と同じケニア出身の3人の留学生がレースを引っ張る形になりました。その中でもトップに立ち、最後の1周は前年度優勝者との一騎打ちに。ラストをフルパワーで走りきってライバルとの距離を広げ、4分10秒99の自己ベストで優勝を果たしました。

初めての高校総体で優勝できてうれしいです。決勝は暑さや苦しい風もあり本当に苦しいレースでしたが、同じケニア出身の選手に絶対に負けたくないと思い、必死でラストパートをかけました。かごしま国体での優勝に向け、これからも頑張ります。



神村学園高等部2年 バイレ・シンシアさん



陸上 女子1500m
タビック県総ひやごんスタジアム/沖縄県(8月5日)



ボクシング 男子ピン級
宮崎市総合体育館/宮崎県(8月3日) 荒竹選手(右)

持ち前の強さで連覇を果たす

初戦、2回戦と調子を上げていき、積極的に攻めて自分のボクシングをしようと挑んだ決勝戦では、相手の猛攻撃の中、持ち前のスタミナと気持ちの強さを武器に冷静にプレー。判定は3-2と割れたものの、昨年に続き見事連覇を達成しました。10月に出場した茨城国体でも優勝を果たし、現在27連勝、全国5冠目と記録を伸ばし続けています。

会場の宮崎まで鹿児島からたくさんの方々が応援に来てくださった中、優勝することができてとても嬉しかったです。現在タイトル5冠を獲ることができたので、来年の鹿児島国体でも連覇を目指して頑張ります。



鹿屋工業高校2年 荒竹 一真さん

日本一に輝いた 鹿児島の選手たち

華麗なレース展開で優勝を掴む

伊佐市で行われたカヌーカナディアンシングルは、当初500mと200mの2レースが行われる予定でしたが、台風の影響で500mのみの開催へ。それでも気持ちを切らさず予選から熱いレースを繰り広げました。決勝では「後半が勝負」と中盤以降から徐々に差を詰め、残り100mでトップに並ぶと一気に加速。他の選手を寄せ付けない力強いプレーで優勝をつかみました。

思い描いたレース展開によって、優勝をつかむことができました。地元開催の大会で活躍できたことがとても嬉しかったです。次の目標はかごしま国体で優勝すること。来年に向け、レベルアップしてチーム鹿児島として活躍できるように頑張ります。



伊佐農林高校3年 崎山 溪さん



カヌー 女子カナディアンシングル
伊佐市菱刈カヌー競技場/伊佐市(8月4日)



水球 男子団体
奥武山水泳プール/沖縄県(8月20日)

攻撃からリズムを生み、8年ぶりの頂点へ

沖縄県で開催された水球。今年の全日本ジュニア選手権でも優勝を果たした鹿児島南高校の選手たちが最高のパフォーマンスを発揮し、全試合において主導権を握りました。決勝前半はお互い一步も譲らない均衡状態が続きましたが、得意の後半戦で得点を重ね、攻撃からリズムをつくって攻守ともに相手チームを圧倒。8年ぶり2度目の頂点に輝きました。

真夏の沖縄の屋外プールでの開催という過酷な環境でしたが、連日白熱した試合に会場は大いに盛り上がりました。熱い戦いを制し、優勝できたことを本当に嬉しく思います。応援にかけつけてくれた保護者の皆さん、大会運営に携わった方々に感謝しています。



鹿児島南高校3年 田村 瑞希さん(主将)



地元を熱くした川内高校バスケットボール部 (サンアリーナせんだい)



地元の声援を受けプレーする鹿児島城西高校卓球部 (鹿児島アリーナ)



大きな声援が選手に力を与えた



スポーツを支える素晴らしさを知った高校生たち

**インターハイを終えて
たくさん感動をありがとう！**

出場する選手や大会を支える高校生が青春の全てをかけたインターハイは、多くの感動を生み、幕を閉じました。

本県選手団はこの晴れ舞台で大きく躍進し、入賞数(8位以内)は団体・個人計50で昨年より11増える結果となりました。また、全国からの来訪者をもてなした高校生たちは、その思いやりあふれる丁寧な対応で多くの方から賞賛を受けました。

今大会によって、来年開催される「かごしま国体」・「かごしま大会」に対する期待感もさらに高まり、高校生たちは鹿児島をより一層熱くしてくれました。

成長を遂げた高校生たちは、この夏の思い出を胸に、これから先ますます活躍の場を広げていくことでしょう。

◆ 鹿児島県選手団の上位成績(1~3位)

	競技名	競技名	氏名/高校名	
1位	ボクシング	男子ピン級	荒竹 一真	鹿屋工業高校 2年
	水球	男子団体	鹿児島南高校	
	陸上	女子1500m	バイレ・シンシア	神村学園高等部 2年
	カヌー	女子カナディアンシングル	崎山 溪	伊佐農林高校 3年
2位	陸上	女子3000m	バイレ・シンシア	神村学園高等部 2年
	体操(新体操)	女子団体	鹿児島純心女子高校	
	フェンシング	女子サーブル	尾崎 世梨	鹿児島南高校 2年
3位	体操(体操競技)	男子ゆか	井上 慎友	出水商業高校 3年
	競泳	男子200m平泳ぎ	榎田 大己	鹿児島情報高校 3年
		男子200m個人メドレー	早崎 遼真	鹿児島高校 3年
		男子200m背泳ぎ	西小野 皓大	鹿児島情報高校 1年
		女子200mバタフライ	後野 真衣	加世田高校 1年
	柔道	男子66kg級	幸田 朗	明桜館高校 2年
		男子90kg級	田中 航太	鹿児島情報高校 2年
		女子48kg級	中馬 梨歩	国分中央高校 3年
	フェンシング	男子サーブル	高山 幸大	鶴丸高校 1年

インターハイを支えた高校生たち



鹿児島アリーナ

会場を彩る草花を栽培

農業科などがある高校では総合開会式や競技会場に彩りを添える草花を栽培。草花装飾などで訪れる人を歓迎しました。



南日本放送

大会開催に向けて幅広くPR!

37年ぶりに地元開催される大会を県全体で盛り上げようと、チラシ配布やテレビ出演、開催300日前イベントなどいろいろな方法で大会をPRしました。



鹿児島中央駅

総合案内所を作製し、全国からの来場者を案内

鹿児島中央駅や鹿児島空港など県内5カ所に設置された総合案内所は高校生がデザインから手掛けたもの。大会期間中は全国から訪れた方に交通アクセスや観光情報などを案内しました。



鹿児島アリーナ

大会会場などの運営をサポート

総合開会式や会場では、入場手続きや選手誘導、ドリンクの配布といったさまざまな場面で運営をサポートしました。



2020 **かごしま国体・かごしま大会へ向けて**

来年はいよいよかごしま国体とかごしま大会が開催されます。インターハイの勢いと熱気を引き継ぎ、両大会を鹿児島県全体で盛り上げていきましょう！



ボランティア募集中

両大会に向けてボランティアを募集しています。運営や障害者の方への支援など、大会をぜひ一緒に盛り上げましょう！



申し込みはこちら

問い合わせ先

県庁保健体育課 高校総体推進室 ☎099-286-5346

写真提供:株式会社P&P浜松ほか

メッセージ

学校の枠を超えて集まった仲間たちと走り続けたこの2年間。多くの場面で活動してきたことが積み重なって大会を大成功させることができたのだと思います。ここで謎かけを一つ。南部九州総体と掛けまして、小籠包と解きます。その心は…。どちらも仲間(中まで)熱々になりました！



県高校総体推進委員会 委員長
鶴丸高校3年 荻田 匠さん

ストラップで夏の思い出を形に



大会に参加する選手などに記念品として配布されたのは、高校生自らが集めた桜島の灰を使った手作りの砂時計型ストラップ。台紙には応援メッセージが手書きされています。